

「データインフォームド都市・交通学」 キックオフシンポジウム

開催日：2024.4.23 (火) 13:00 ~15:30 (開場12:30)

会場：オンライン (第一ホテル東京より配信。現地参加は応募多数により締め切りました。)

参加費：無料 (要事前申込)

■開催趣旨

日本の都市部では、鉄道や駅を中心とした都市開発(TOD¹)が多く見られ、人々の移動や活動が「まち」を形づくってきた歴史があります。2024年4月1日に東京大学モビリティ・イノベーション連携研究機構に設置された社会連携研究部門「データインフォームド都市・交通学」は、近年蓄積され利用可能になってきた交通や都市に関わるデータに基づいて、東京大学の多様な研究者と企業の実務者の協働により、持続可能な都市・交通に関する、分野横断的かつ実践的な、データ分析/活用方法と知識体系を構築することを目的としています。これにより、VUCA²/人口減少社会においても持続可能かつ実践的な都市・交通戦略の提案や、人々のwell-being向上を実現するまちづくりやモビリティ実装が可能になることが期待されます。

2024年4月23日に開催されるキックオフシンポジウムでは、本研究部門のねらいや企画をより具体的に紹介します。さらに、鈴木洋史 SAPジャパン株式会社 代表取締役社長、三宅陽一郎 株式会社スクウェア・エニックス AI部 ジェネラル・マネージャー/リードAIリサーチャー (東京大学生産技術研究所 特任教授) をお招きし、都市で収集される様々なデータを起点に、交通サービスをはじめとした都市機能の充実や施策・サービス等のトランスフォーメーションに必要な視点を広く議論します。

1. Transit-oriented development

2. 「Volatility」「Uncertainty」「Complexity」「Ambiguity」という単語の頭文字を取った単語で、不安定で不確実で複雑で曖昧な状況を示す

■プログラム

司会：中野 公彦 東京大学生産技術研究所 教授

13:00~13:40 第一部：キックオフセレモニー

挨拶	藤井 輝夫 嶋田 泰夫 須田 義大 年吉 洋	国立大学法人東京大学 総長 阪急阪神ホールディングス株式会社 代表取締役社長 東京大学モビリティ・イノベーション連携研究機構 機構長 東京大学生産技術研究所 所長
社会連携研究部門「データインフォームド都市・交通学」の活動概要	大口 敬	東京大学社会連携研究部門 「データインフォームド都市・交通学」特任教授
社会連携研究部門「データインフォームド都市・交通学」と阪急阪神ホールディングス データ分析ラボの連携	日下部 貴彦	阪急阪神ホールディングス株式会社 データアナリティクスディレクター

13:50~15:30 第二部：シンポジウム ~都市と人をつなぐデータ流通が拓く、もしかする未来の新たな地平~

基調講演① 13:50~14:10	グローバルから見たHH cross ID	鈴木 洋史	SAPジャパン株式会社 代表取締役社長
基調講演② 14:10~14:30	メタAI、キャラクターAI、空間AIで作るスマートシティ	三宅 陽一郎	株式会社スクウェア・エニックス AI部 ジェネラル・マネージャー/リードAIリサーチャー (東京大学生産技術研究所 特任教授)
話題提供① 14:30~14:40	阪急阪神DXプロジェクト-1.0	山本 隆弘	阪急阪神ホールディングス株式会社 グループ開発室DXプロジェクト推進部長
話題提供② 14:40~14:50	データ駆動とユーザー志向をつなぐ“デザイン”	本間 健太郎	東京大学社会連携研究部門 「データインフォームド都市・交通学」特任准教授
パネルディスカッション 14:50~15:25	モデレータ：大口 敬 パネリスト：鈴木 洋史、三宅 陽一郎、山本 隆弘、本間 健太郎、日下部 貴彦		
閉会挨拶		関本 義秀	東京大学社会連携研究部門 「データインフォームド都市・交通学」特任教授

■参加方法

右の二次元コードまたはURLより、お申し込みください。

締切：〈現地〉応募多数により締め切りました

〈オンライン〉2024年4月22日(月)17時

オンライン申し込み

https://u-tokyo-ac-jp.zoom.us/webinar/register/W/N_m0jH-skWR7SmDbr3aaffwQ



主催：東京大学モビリティ・イノベーション連携研究機構

共催：阪急阪神ホールディングス株式会社

後援：東京大学生産技術研究所

お問合せ

東京大学モビリティ・イノベーション連携研究機構 事務局

E-mail : utmobi-sec@its.iis.u-tokyo.ac.jp